書式Ｄ−１　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＊受付番号

ケース研究報告書

氏名

A　ケース研究報告

テーマ

B　認定された学術大会、研修会での発表

テーマ

C　学術雑誌等での発表

テーマ

雑誌名巻号貢等 単・共著の別 刊行年月日

D　著書

テーマ

単・共著の別 刊行年月日 発行所

A~D のいずれかを選び○をつけ、A,Bは次に続く「ケース研究」の書式を使用。C,Dは該当部分の切り抜きを提出すること。

ケース研究

所属

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

１．来談者

年齢 　　　　　　　　性別 　　　　　　　　職業等

２．来談者による相談内容

３．問題（来談者の相談内容によりセラピストは何が問題だと見立てたか）

４．家族

５．インテーク時の印象（様子）

６．相談歴

７．治療構造（時間、場所、個別あるいは集団、動作法単独あるいは他技法併用、等）

８．動作課題

９．期間と回数

１０．ケースの終わり方

１１．動作法を適用してどのような効果があったか

１２．どういう問題があったか

１３．経過

１４．考察

＊用紙は A4 サイズを使用し、上記１．～１２．については１～２枚にまとめ、１３．～１４． では１０枚を限度にまとめることがのぞましい。